

公開講演会のご案内

方法の転換・新しい写本の発見と仏教研究

近年、新たな仏教写本が多数発見され、大変な驚きをもって迎えられている。仏教写本、とくにすでに失われたと思われてきた律・阿含・アビダルマ・大乘経典などの写本が近年発見され、閲覧できるようになってきた。

それら新たに利用可能となった写本によって、我々はこれまでのインド、東南アジアの仏教に対する理解を変更しなければならなくなってきたと言ってよい。新出写本によって、新しい研究のアプローチやパラダイムを考えなければならないし、また新出写本の価値はいかなるものか、「オリジナル」の文献に対して周辺諸地域の言語に翻訳された文献はどのような価値を持つのか、などの新たな問題について検討しなければならない。

この講演では、極めて重要な新たな仏教写本の概観をご紹介します、そこから派生する新しい問題について言及する。

(講演はパワーポイントを使用。講演の日本語要約・質疑応答の通訳あり。)

日時：2008年11月27日(木) 16:10～

場所：大谷大学 響流館3階 マルチメディア演習室

講師：ピーター・スキリング博士

スキリング先生は、the École française d' Extrême-Orient (Bangkok) 〈略してEFEO〉に所属し、現在タイを拠点として精力的に研究活動を展開しておられるきわめて著名な仏教学者です。

※ 18:00 から学内カフェにて懇親会を開きます。あわせて御参加下さい。

地下鉄北大路駅5番出口を出て左手の大学北門を御利用下さい。

事前申し込みは不要。

問い合わせ先：大谷大学 603-8143 京都市北区小山上総町

Phone: 075-432-3131 (代表)

